

2020年3月期 通期 決算補足説明資料

株式会社RVH

2020年6月8日



1.	2020年3月期 通期連結業績ハイライト	P.2
2.	2020年3月期 通期セグメント別実績	P.7
	レディスサービス事業：2020年3月期 通期実績	P.9
	美容脱毛部門	P.10
	エステティック部門	P.11
	アパレル部門	P.12
	その他事業 ：2020年3月期 通期実績	P.13

1. 2020年3月期 通期 連結業績ハイライト

2020年3月期 通期 連結損益の状況

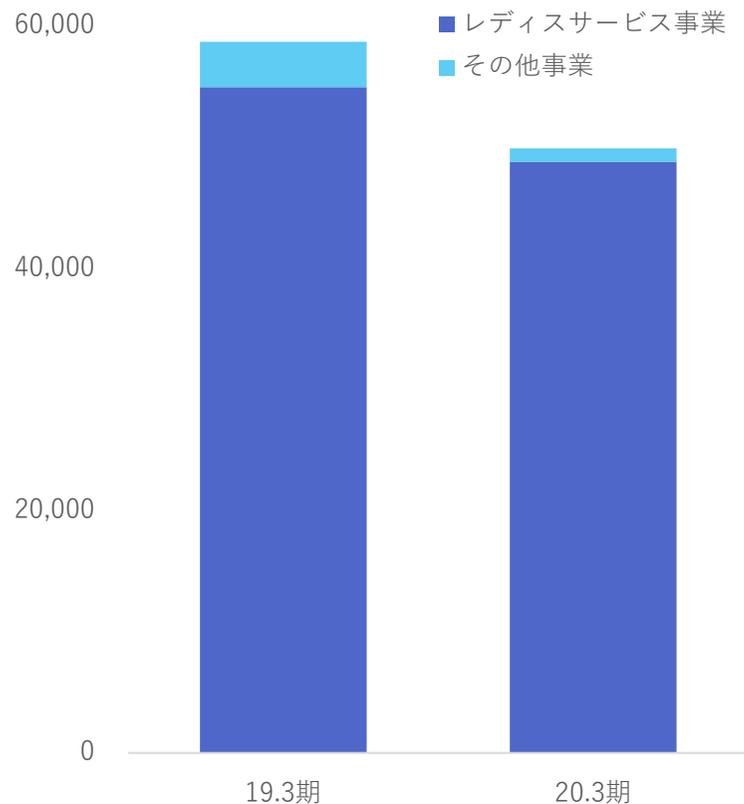
(単位：百万円)

科目／期別	2019/3期 実績	2020/3期 実績	増減	主な増減要因
売上高	58,740	54,523	△4,217	前期連結子会社（広告代理店部門）売却、 下期の消費税増税の反動、 外出・イベント自粛の影響等により減収
E B I T D A	2,168	2,851	841	営業利益+のれん償却費 1,899百万円 + 減価償却費 1,293百万円
営業利益	△942	△341	601	美容脱毛ブランド統合による広告宣伝費圧縮により改善
経常利益	△1,004	△26	978	
法人税等合計	1,167	△1,673	△2,841	法人税等調整額 △1,710百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	△3,539	△1,625	1,914	特別損失の計上により減益 (のれん減損1,364百万円、貸倒引当金1,035百万円等)

連結セグメント別売上高 下期消費増税反動、外出自粛等により減収 販売費及び一般管理費 広告効率化により前期比92.9%で着地

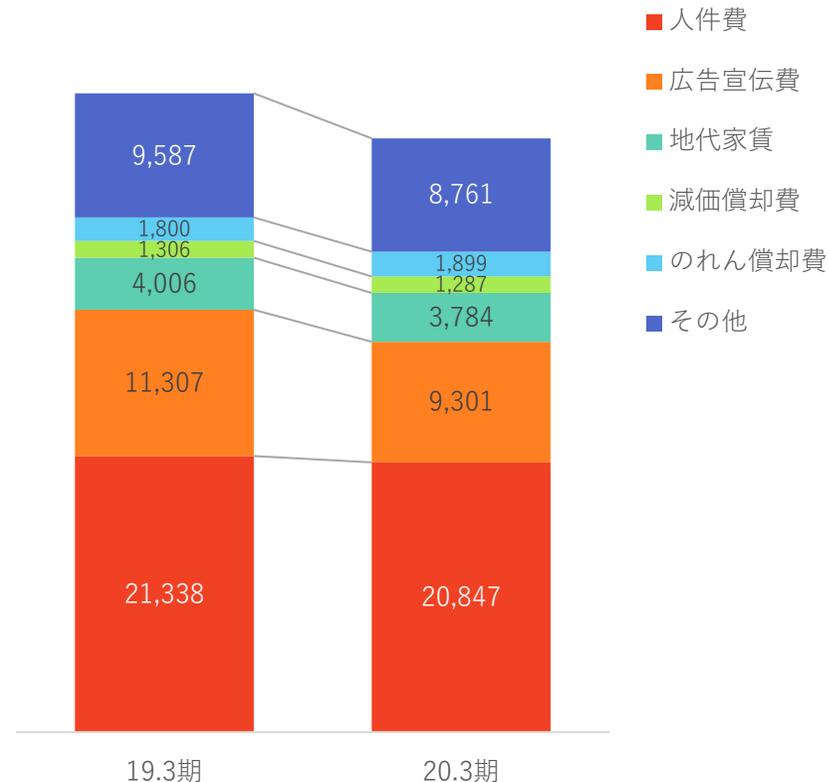
連結セグメント別売上高

(単位：百万円)



主要販売費及び一般管理費

(単位：百万円)



2020年3月期 通期 連結貸借対照表の推移

(単位：百万円)

	2019/3期 期末	2020/3期 期末	増減	主な増減要因
流動資産	28,234	27,993	△240	
現金及び預金	1,975	2,060	85	
受取手形及び売掛金	11,934	15,031	3,096	物品売上の増加
未収入金	9,188	6,916	△2,271	長期貸付金への振替
固定資産	50,276	50,881	604	
のれん	25,990	24,628	△1,362	のれん減損損失の計上
流動負債	53,808	56,844	3,036	
短期借入金	428	2,101	1,672	外部借入の増加
前受金	44,283	45,967	1,684	美容契約獲得の増加
固定負債	16,007	14,925	△1,081	
純資産	8,695	7,104	△1,590	親会社株主に帰属する当期純損失の計上
総資産	78,511	78,875	364	

2020年3月期 連結キャッシュフローの状況

株式会社 RVH

(単位：百万円)

	19/3期	20/3期
営業キャッシュフロー	△2,869	△178
税金等調整前四半期純利益	△2,371	△3,298
減価償却費	1,311	1,293
のれん償却費	1,800	1,899
売上債権の増減 (△は増加)	△5,134	△3,083
前受金の増減	4,908	1,684
事業譲受対価見直しに伴う債権債務の増減 (△は増加)	△3,153	△2,155
投資キャッシュフロー	180	△596
定期預金の増減	834	106
財務キャッシュフロー	△32	944
現金及び現金同等物の増減額	△2,721	169
現金及び現金同等物の期首残高	4,380	1,659
現金及び現金同等物の期末残高	1,659	1,850

2. 2020年3月期 通期 セグメント別実績

セグメント別損益の状況

レディスサービス事業 外出・イベント自粛等により減収、広告効率化により増益
 その他事業 前期の子会社株式売却等により減収減益

(単位：百万円)

科目／期別	2019/3期 実績	2020/3期 実績	対前年同期 増減	対比 (%)
売上高	58,740	54,523	△4,217	92.8
レディスサービス事業	55,001	53,244	△1,756	96.8
その他事業	7,309	3,788	△3,520	51.8
(連結調整等)	△3,569	△2,509	1,060	—
EBITDA	2,168	2,851	682	131.5
レディスサービス事業	1,996	2,782	786	139.4
その他事業	105	25	△80	—
(連結調整等)	67	43	△23	—
セグメント損益	△942	△341	601	—

レディスサービス事業：2020年3月期 通期実績

株式会社 RVH

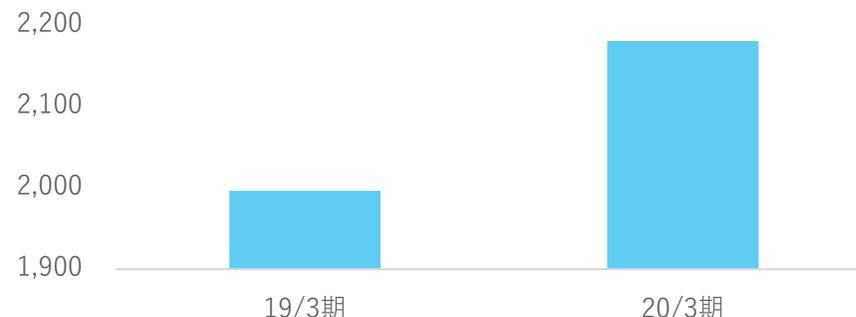
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

EBITDA



◆売上高 前期比 96.8%

部門別前期比：

美容脱毛部門 100.2%

- ・物販売上増、マキア出店増（↑）
- ・消費税増税反動、ブランド統合による一部店舗減（↓）、

エステティック部門 89.7%

- ・店舗数減、外出自粛基調による施術来店減（↓）

アパレル部門 78.9%

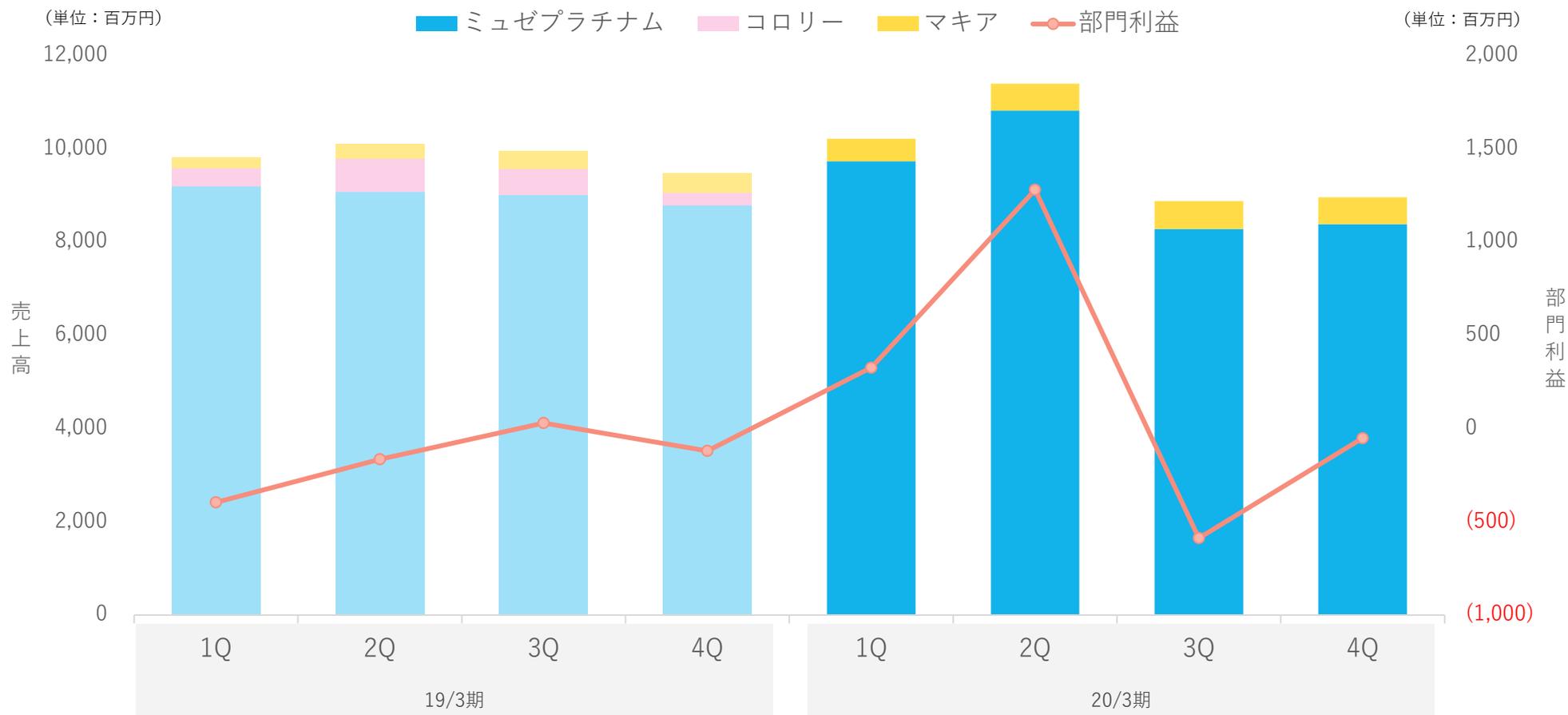
- ・消費税増税反動、イベント自粛による販売不振（↓）

◆セグメント EBITDA 前期比 139.4%

広告宣伝費削減等により前期比増益

レディスサービス事業：美容脱毛部門

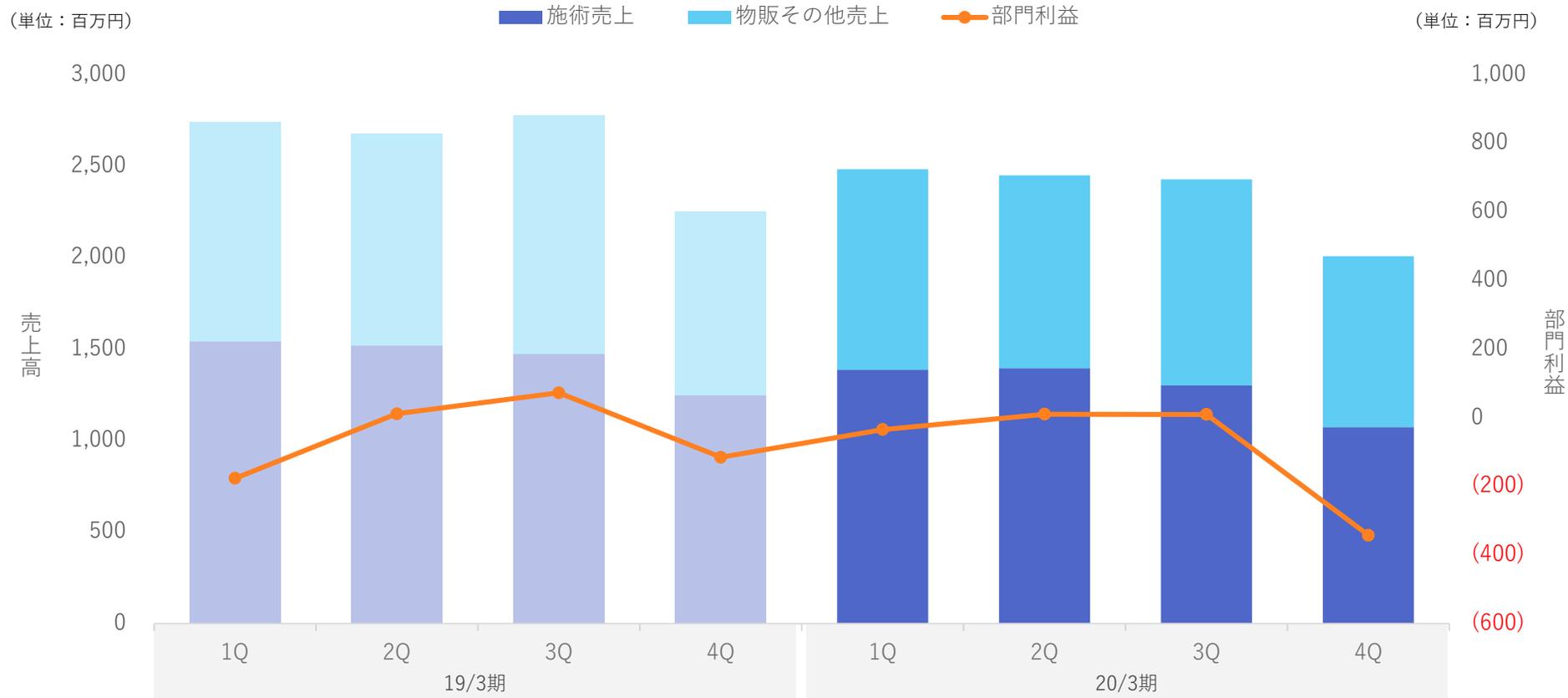
物販・マキアが伸長の一方、消費税増税反動、外出自粛により下期売上鈍化
 累計売上高は前期比100.2% 累計部門利益は広告費削減により増益で着地



◆売上高の内訳及び推移

累計売上高 店舗統廃合等により前期比89.7%で着地

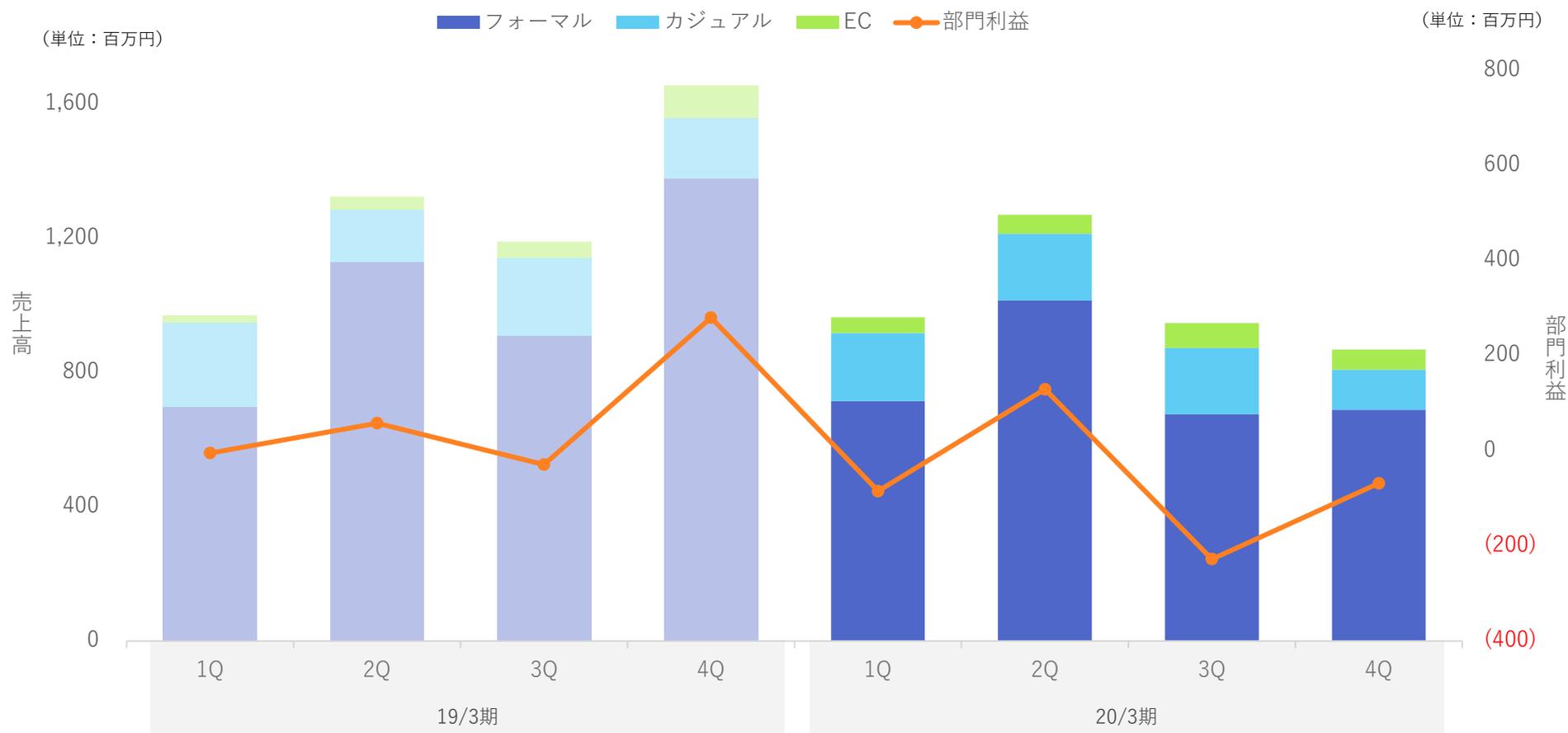
累計部門利益 コスト削減も4Q施術売上減少により前期比減益で着地



レディスサービス事業：アパレル部門 ラブリークィーン

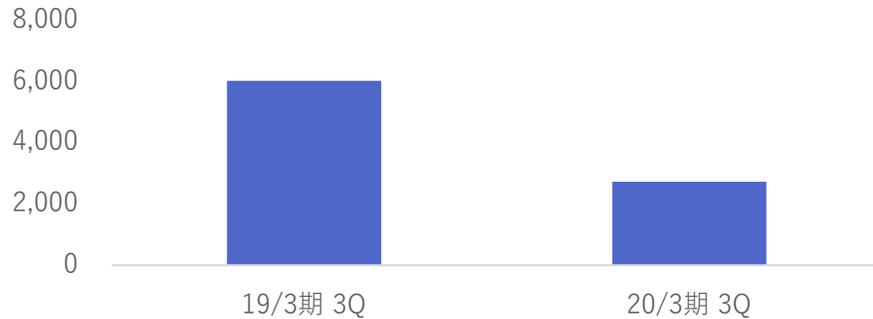
◆売上高及び部門利益の推移

累計売上高 3Qの消費税増税反動、4Qの外出・イベント自粛により前期比78.9%
 累計部門利益 減収に伴い部門利益減益で着地



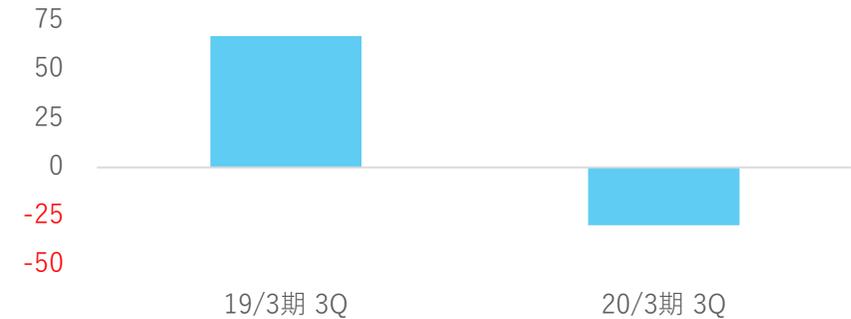
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

EBITDA



◆トピックス

- ・ 外部顧客向けマーケティングサービス、グループ内WEB広告サービス、システム開発、人材派遣等を実施
- ・ 前期3Qに一部子会社の全株式を譲渡
- ・ 一部WEB広告案件、アプリ開発案件の受注が当初見込みを下回る
- ・ 新型コロナウイルス感染症に係る当期の影響は限定的
→売上高 前期比51.8%、EBITDA25百万円で着地

本資料は、当社及び当社グループの企業説明に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。

